

令和6年度「文化芸術による子供育成推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	公益財団法人せたがや文化財団
公演団体名	世田谷パブリックシアター

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領3ページを御参照ください。

分野	種目
演劇	児童劇、演劇、ミュージカル

取り組み（該当する取り組みに○を付してください。）

該当	取り組み
<input type="radio"/>	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
<input checked="" type="radio"/>	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

高次脳機能障害、身体障害ほか

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分（該当する区分に○を付してください。）

該当	区分
<input type="radio"/>	◀D区分▶ 公演を中心とする企画
<input checked="" type="radio"/>	◀E区分▶ ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として 本公演：令和6年6月3日（月）～令和7年1月31日（金）まで

ワークショップ：令和6年5月1日（水）から令和7年1月31日（金）まで

実施可能期間	×	上記「実施可能期間」対応可能	※夏休み、年末年始を除く	
	令和6年9月2日	～	令和7年1月31日	～
		～		～
		～		～
連日公演の可否	不可	←選択してください。		

**実施可能地域** ※実施可能な地域名の前に○を付してください。（複数選択可）

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

**団体の概要**

**【制作団体について】**

ふりがな	こうえきざいだんほうじんせたがやぶんかざいだん		
制作団体名	公益財団法人せたがや文化財団		
代表者職／氏名	理事長 青柳正規		
制作団体所在地	〒 154-0004		
	東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5階		
制作団体代表電話番号	03-5432-1526		
制作団体設立年月	1997	年	4月
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	高萩宏（世田谷文化生活情報センター館長）、酒井忠康（世田谷美術館館長）、亀山郁夫（世田谷文学館館長）	特になし	
事務体制：事務（制作専任担当の有無）		他の業務と兼任	
Webサイト等URL	https://www.setagaya-bunka.jp/about/		
本事業担当者名	恵志美奈子（劇場部学芸）	本件連絡先：電話番号	03-5432-1526
メールアドレス	m-eshi@setagaya-ac.net		
経理処理等の監査担当の有無		有	
経理責任者名	黛 和晃		

**【公演団体について】**

ふりがな	せたがやぼりっくシアター
公演団体名	世田谷パブリックシアター
代表者職／氏名	世田谷パブリックシアター芸術監督 白井晃
Webサイト等URL	https://setagaya-pt.jp/

## 特別支援学校等における活動実績や障がいを持ったアーティストの活動を拡げる公演等の活動実績

### 【主催事業】

1994年度より世田谷区内小中学校に訪問する演劇ワークショップ事業「かなりゴキゲンなワークショップ巡回」を立ち上げ、特別支援学級や不登校支援学級を訪問している。直近3年間の特別支援級等への実績は以下の通りである。

### 2021年度

笹原小学校「目の教室」：2021年6月2日、21日、22日、25日

烏山小学校「つくし学級1年」：（特別支援級の児童が通常級に合流の形で3回x2クラス）

①2022年2月16日、24日、3月1日                      ②2022年2月17日、22日、3月1日

烏山小学校「つくし学級2年」：（特別支援級の児童が通常級に合流の形で3回x3クラス）

①2022年1月27日、2月14日、3月15日      ②2022年1月26日、2月18日、3月17日

③2022年1月26日、2月14日、3月17日

ほっとスクール城山：2021年11月25日、2022年1月28日、2月25日

### 2022年度

ほっとスクール城山：11月21日（月）、12月15日（木）、1月24日（火）

笹原小学校「目の教室」：6月8日（水）

ほっとスクール希望丘：2月8日（水）

### 2023年度

笹原小学校「目の教室」：5月10日（水）、6月7日（水）、7月5日（水）

ほっとスクール城山：9月28日（木）、11月27日（月）、2月26日（月）

烏山北小学校「きこえとことばの教室」：11月29日（水）

### 【劇場提携公演】

東京都立青鳥特別支援学校（世田谷区池尻）の「表現活動部」の卒業生を中心に2002年に設立された劇団、SACミュージカル（<http://sac-musical.com/>）と提携し、隔年で公演を実施している。稽古の際には劇場稽古場を貸し出すとともに、技術面でも劇場技術部が手厚い支援をおこなっている。直近3回の内容は以下のとおり。

#### SACミュージカル『怒羅吸羅』

上演日：2021年10月9日～10日（全4回）、会場：シアタートラム

主催：SACミュージカル、脚本・構成・演出・振付：渡部朱美

#### SACミュージカル『ブンナよ、木からおりてこい』

上演日：2019年9月7日～9日（全3回）会場：シアタートラム

主催：SACミュージカル、脚本・構成・演出・振付：渡部朱美

#### SACミュージカル『クラウディア！』

上演日：2019年9月7日～9日（全3回）会場：シアタートラム

主催：SACミュージカル、脚本・構成・演出・振付：渡部朱美

令和6年度「文化芸術による子供育成推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.2（D区分）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	世田谷パブリックシアター					
企画名	障害者が自らの人生・障害を伝える演劇プロジェクト「ともしやの部屋」					
主な対象学年 ※複数選択は可能ですが企画内容と趣旨が異ならないようお願いいたします。	<input checked="" type="checkbox"/>	小学校：低学年	<input type="checkbox"/>	小学校：中学年	<input type="checkbox"/>	小学校：高学年
	<input type="checkbox"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				
	<input checked="" type="checkbox"/>	特別支援：小学部	<input type="checkbox"/>	特別支援：中学部	<input type="checkbox"/>	特別支援：高等部
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安			1回の人数	回数		
ワークショップ	※3回まで		80人	1		
本公演	※1校1回まで		80人	まで対応可		
企画の動画等の資料						
URL				PW		

本公演について

主な演目	「ともしやの部屋～黒田真史さん編～」ほか					
原作／作曲	なし					
脚本	大道朋奈ほか					
演出／振付等	大道朋奈					
公演時間 (分)	著作権	<input type="checkbox"/>	制作団体が所有			
		<input checked="" type="checkbox"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる			
90分		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無				
演目概要	<p>「ともしやの部屋」は、障害当事者が語るライフヒストリーをもとに、演出担当の大道朋奈氏含む俳優や障害当事者たちが集団創作した演劇作品です。障害当事者の歩んできた人生を、時におもしろく、時にシリアスに伝えます。大道氏演じる「ともしや」がホスト役となり、障害当事者が障害を持つようになったきっかけ、今現在障害とともにどのように生活しているのかなど、子どもたちにとって距離を感じてしまいがちな「障害」に対して、理解を深め、どのように向き合うべきかを考えるきっかけを作ります。公演と同時にワークショップも実施します。【公演時間（30分）+ワークショップ（60分） 授業2時限分を活用】</p> <p>「ともしやの部屋～黒田真史さん編」の主人公黒田真史さんは、18歳の時に、友人の運転する車に乗車中、脳が飛び出すほどの大きな交通事故に合いました。高次脳機能障害となり、発語や移動もままならなくなり、失意のどん底にいましたが、リハビリを重ねて、食べること、一人で出かけること、タブレットを使いながら意思を伝えることなどを、一つずつ自分らしく暮らしていくために実現してきました。今では、一人でスーパーに行き買い物をする方法も考えて実践したりもしながら、自分のできる形で社会とコミュニケーションを取りながら暮らしています。 ※「ともしやの部屋～黒田真史さん編～」を中心に、同じく高次脳機能障害で車いす生活の「中川陽子さん編」、また重度脳性麻痺の「実方裕二さん編」などの作品も候補として学校に提示し、学校の希望、障害当事者の体調に応じて決定します。</p>					

公演従事予定者の編成 (1公演当たり)	出演者：5人（内、障害を持ったアーティスト1人） 舞台監督：1人								
公演に当たり 必要な会場条件	・舞台の設置場所		○	教室	○	体育館			
	・舞台に必要な広さ		6m×6m程度						
	・電源容量（主幹ブレーカー容量）		60 A						
	・暗転の要否			要	○	不要			
	・その他		ランチルーム、多目的室など、教室2つ分サイズ程度の部屋。定員の生徒が丁度入る広さ。						
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み		無		会場設営の所要時間		0	時間程度	
	到着	仕込み（開始・終了）		本公演（開始・終了）		内休憩	撤去（開始・終了）		退出
	8:30	8:30	9:00	9:00	10:30	0:00	10:30	11:30	11:30
派遣について	移動方法の制約等			アーティスト（車いす）の移動方法については、会場ごと検討する。					
	運搬規模			普通車1台程度					

### ワークショップについて

内容	「ともにやの部屋」の上演後、体を動かすゲームをしたり、感想を話したり、作品にまつわるキーワードについて小グループでディスカッションをしたりします。また、障害を持つアーティストと直接コミュニケーションをとる時間を設け、フラットな関係性の中で障害理解を促すようなワークを行います。（所要時間60分）
体制	ワークショップファシリテーター：5人（内、障害を持つアーティスト1人） コーディネーター：1人
目的とする効果	作品鑑賞後、子どもたち一人ひとりが感じたり、考えたりしたことを、他者と共有し、障害への理解をより深めることを目的とします。また、上演作品に出演している障害当事者と直接コミュニケーションを取ることで、子どもたちが障害をより身近なものとしてとらえられるようになることを目指します。

### 企画全体について

**当ユニバーサル公演事業を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。**

企画のねらい	本作のテーマを担う存在であり、出演者でもある障害当事者がどのような経緯で障害を持つに至ったのか、そして障害とどのように向き合いながらこれまでの人生を歩んできたのかを子どもたちに知ってもらい、子どもたちが障害とは何かを理解すると同時に、障害者である前に一人の人として出会い、向き合うことの大切さを学ぶことをねらいとします。また、演劇という形式で提示することによって、子どもたちが身近なテーマとして受けとめやすくなることを目指します。
--------	---

特別支援学校等での実施における工夫等

作品そのものは、非常にシンプルでわかりやすく、音楽や動きも多く取り入れているので、障害児にとっても受け入れやすいものとなっています。ワークショップについては、学校教員にもワークに加わってもらったり、ファシリテーターを増やしたりすることで、より丁寧なコミュニケーションをとれるように工夫をこらして実施します。

取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題（障がいの種類等）

協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等

○協力機関における専門員

川邊 循/ケアセンターフラット（社会福祉法人世田谷ボランティア協会）

施設では、黒田さん、中川さんの支援員として勤務。当プロジェクトのコーディネートの役割を担っています。

## 【令和6年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書（No.1）】

ID*	UNI6_06	企画名	障害者が自らの人生・障害を伝える演劇プロジェクト「ともにやの部屋」		
制作団体名	公益財団法人せたがや文化財団		公演団体名	世田谷パブリックシアター	

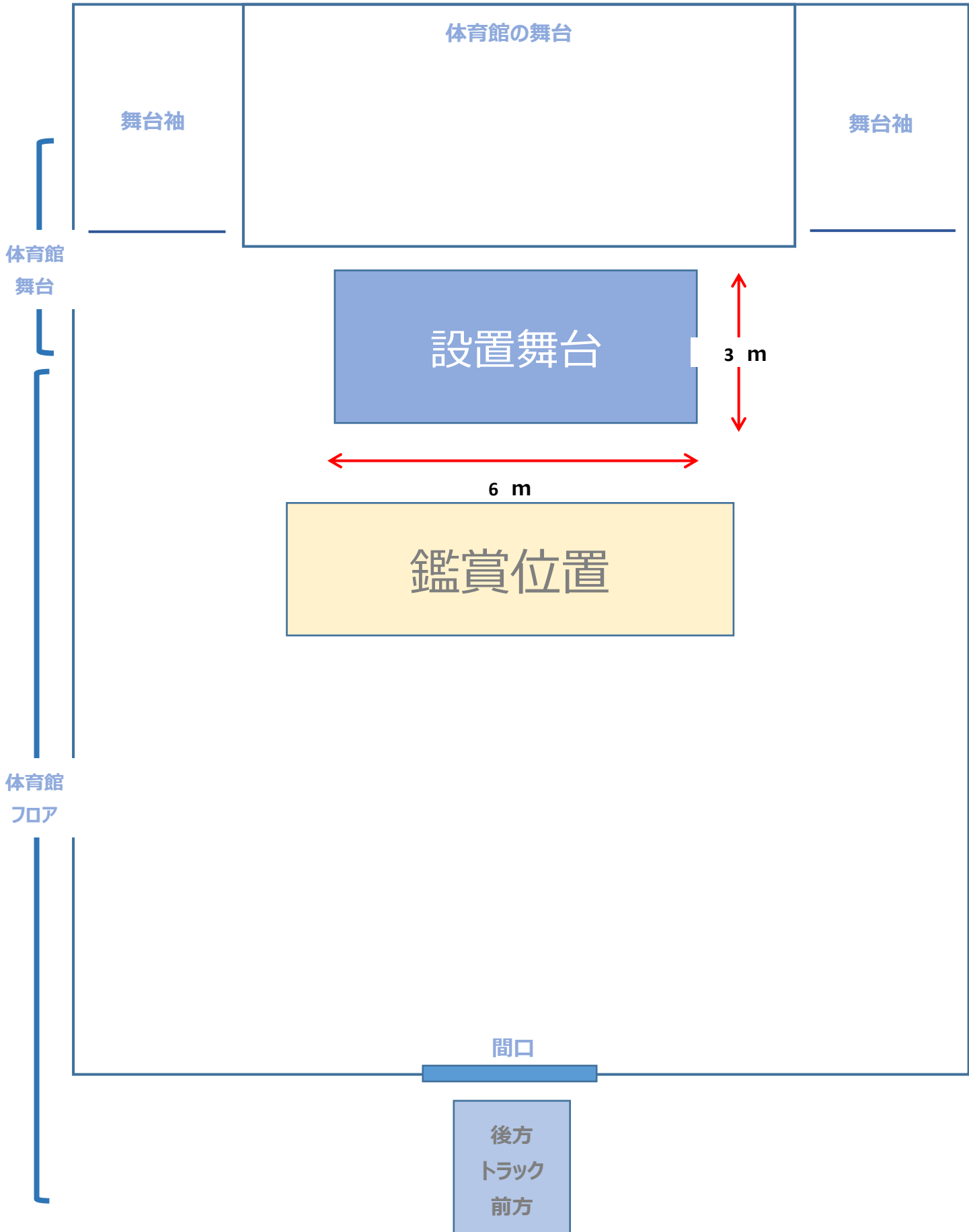
## ① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等						応相談	
控室について	必要数*	1室	条件	電動車椅子がアクセスできる部屋				
前日仕込みについて*		あり、なし	補足				-	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		バン	1台			不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細		大道具の搬入はありません。車いす出演者用の介護タクシーが駐車します。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ						-	
	搬入車両の横づけの要否*		なし				-	
	横づけができない場合の搬入可能距離*		不要				-	
	搬入経路の最低条件		段差NG。				-	
	理由		俳優の一人が電動車椅子ユーザーのため。					
	設置階の制限*		エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可	
搬入間口について 単位：メートル		幅	1m	高さ	1.8m	可		
舞台設置場所*		フロア				可		
舞台設置に必要な広さ 単位：メートル		幅	6m	奥行	3m	高さ	1.8m	可
体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		不要				-	
	舞台袖スペースの条件*		特になし				-	
	緞帳*	不要	バトン*	不要			-	
遮光(暗幕等)の要否*		不要	理由				-	
ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			-	
	ピアノの事前調律*		不要				-	
フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				-	
公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量				-		
その他特記事項							応相談	
広すぎる会場（体育館）よりも、教室より一まわり大きい、ランチルームや多目的室などの法g適切です。							可	

## ②会場図面(表記単位：メートル)

搬入間口について	幅	1	高さ	1.8
搬入車両の横づけの可否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		#REF!		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。





世田谷パブリックシアター

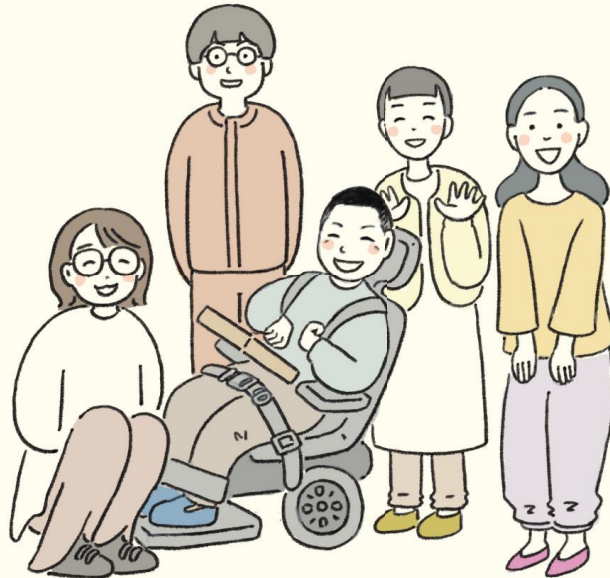
「ともにやの部屋 ～黒田真史さん編～」

令和4年度実施報告書

ともにやの部屋

～黒田真史さん～

+ワークショップ



### 【実施概要】

「ともにゃの部屋」は、障害当事者が語るライフストーリーをもとに、脚本・演出担当の大道朋奈氏や障害当事者たちが集団創作した演劇作品です。障害当事者の歩んできた人生を、時におもしろく、時にシリアスにまとめあげました。大道氏演じる「ともにゃ」がホスト役となり、障害当事者が表現者の一人として、自らの人生を伝えていきます。障害を持つようになったきっかけ、今現在障害とともにどのように生活しているのかなど、子どもたちにとって距離を感じてしまいがちな「障害」に対して、理解を深め、どのように向き合うべきかを考えるきっかけを作る作品です。公演と同時にワークショップも実施しました。

※公演時間（40分）＋ワークショップ（45分） 授業2時限分を活用

### 【実施校及び日程】

- ・本庄市立旭小学校 4年生 32人＋特別支援学級 7人（2022年12月8日）
- ・伊勢原市立伊勢原中学校 演劇部生徒 43人（2022年12月13日）
- ・世田谷区立明正小学校 6年生 38人、36人（2023年1月23日、24日）  
※受験シーズンで欠席の児童が多く、2クラスずつ合同で行った。
- ・軽井沢風越学園 3・4年生合同 48人（2023年1月30日）

### 【出演者】

黒田真史・大道朋奈・有吉宣人・大塚由祈子・高野栞

### 【鑑賞した子どもたちからの声】

・わたしが1ばん楽しかったのは、クイズです。とても楽しかったです。2ばんは、げきです。車が3かいてんもまわるとかながえたらこわいと思いました。これからは、しょうがいをもっている人やおとしより、目がわるい人がいたら、なにかてつだいましょうかとかえをかけてたすけたいです。

・わたしが心にのこったことは、「わたしは不じゆうになりたくないなー。だって不じゆうになったらなにもできなくなっちゃうもん」と思っていたのですが、今日のえんげきを見て、不じゆうでも新しいことをはっけんすることがあると、学びました。

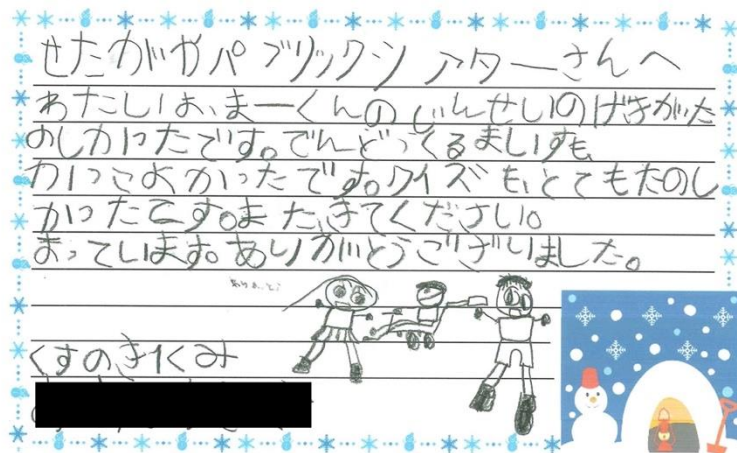
・わたしは、えんげきで、体にしょうがいがある人でも何にもできないわけではなく、体にしょうがいがあるからこそできる体験があるということがわかりました。もし、黒田さんのような方に出会ったら、勇気を出して、声をかけられたらいいです。

・僕は今まで障害を持っている方には人一倍気を遣っていたのですが、黒田さんの話で、障害を持っている方にも、同じように接していきんだなと思いました。

・黒田さんが笑ったら僕らも笑って嬉しかったです。

・自分は少し障害の方に苦手意識がありましたが、黒田さんと交流をして、いつのまにか苦手意識が無くなりました。

・僕自身、障害のある方の勝手ながら壁を感じており、特別優しくしなければと思っていましたが、普通に接していいんだなというふうに変りました。また、どこかでお会いできればと願っています。



## 【実施の様子】

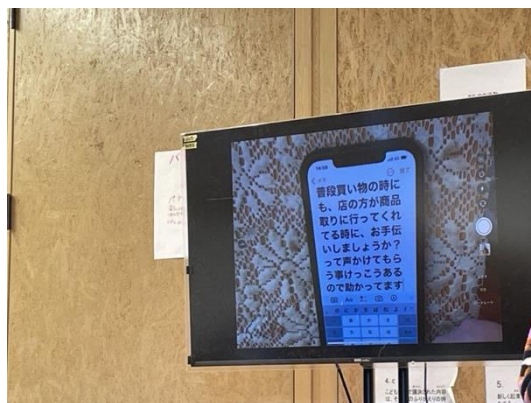
### ◎前半の「ともにゃの部屋～黒田真史さん編～」上演中の様子



### ◎後半のワークショップの様子



黒田さんに関するクイズをしている様子。モニターを使って、黒田さんが日々更新しているインスタを見ている。



黒田さんのコミュニケーションツールであるスマホの画面。



黒田さんに関するクイズをしている様子。モニターを使って、黒田さんが日々更新しているインスタを見ている。





## 【安心の設計】演劇通じ障害者を身近に 小中学生向け ユーモア交え日常「熱演」

2023/02/27 05:00 [\[読者会員限定\]](#)

メモをする



子どもたちと交流する黒田さん（左から2人目）と役者ら（東京都世田谷区で）

障害がある人の半生を演劇にし、理解を深めてもらおうと、公共劇場「世田谷パブリックシアター」（東京）が小中学生向けに巡回公演している。日々の喜びや悩みをユーモアを交えて伝えることで障害者を身近に感じられるよう工夫がなされている。都内の公演を訪ねた。（石井千絵）



「行ってみたい、でも行けるのかな……。何としても行かなくちゃ！」

障害者役の役者が声を張り上げる。演じられているのは東京都世田谷区内に住む高次脳機能障害の黒田真史さん（46）の日常だ。

黒田さんは発語が不自由だが、劇中で役者は、思いをセリフで表現する。この場面は、障害を負ってから初めて遠方の旅行に挑戦した日を再現。支援団体の助けを得て、介護タクシーで空港まで行き、空港専用の車椅子に乗り換える姿を表現した。

黒田さんは18歳の時に交通事故で脳の右半分を損傷した。移動には電動車椅子を用いている。動かせる右手親指でスマートフォンを操作し、画面に文字を表示して意思を伝えている。

事故直後は自死を考えるほど絶望したが、リハビリをする中で、一人で外出するなど、少しずつできることを増やしていったという。



この取り組みは、黒田さんが「自分の体験を伝えたい」と世田谷パブリックシアターに相談したのがきっかけだ。黒田さんは意思疎通に時間がかかるため、自分で体験を語るのは難しい。そこで、役者らが黒田さんや介助者にインタビューをし、印象的な体験を抽出して台本にした。

「かっこいい服を買いに行きたい」という動機から電動車椅子に挑戦した逸話や、リハビリ施設から自宅まで若い女性のいる帰り道をうきうきしながら通る姿など、黒田さんの日常がユーモアを織り交ぜて演じられた。

この日の公演では子どもたちからも時折笑い声が上がっていた。リアルな障害者の姿や思いを知ってもらうことで「近寄りやすい」という心理的な壁を取り除いてもらうのが狙いだ。

企画に携わった高次脳機能相談員の川辺循さん（53）は「障害者に気を使い過ぎてしまう人も多いが、自分たちと変わらないんだということ、作品を通じて感じてほしい」と話す。



公演後は、黒田さんと子どもたちが一緒に買い物に出かけるという設定で、交流の時間があった。子どもたちは、聴力の残る右耳に話しかけたり、「どちらがいいですか」と商品を実際に見せながら確認したりするなど、工夫してやりとりしていた。

子どもたちからは「自分が黒田さんの立場だったら助けてくれる人が欲しい」「みんなで協力するのが大事」などの感想が出た。黒田さんは子どもたちに対し、「日本の未来は明るくなって思えました」と、スマホを通じて語りかけていた。

公演は今年1月から埼玉、神奈川、長野など各地を回って行われた。同シアターでは今後も、同様の活動を続けていくという。

## 「障がい」のある人について

人がさまざまな病気になったりケガをした後で、病院に行ってもどうしても治らない後遺症が残ることがあります。これを「障がい」といいます。

- 「障がい」は、若い人でも年を取った人でもなることがあります。
- 「障がい」は、生まれつきのもので、年を取ってからなるものがあります。
- 「障がい」は、他の人から見えるものと、見えないものがあります。

障がいのある人は、障がいのない人よりも少しだけ苦手なことがあります。例えば、足が動かなくて車椅子を使っている人は、急な坂を上ったり、階段の昇り降りをすることはできません。でも、誰かが車椅子を押してあげたり、エレベータを使えば上の階や下の階に行くことができます。

障がいのある人の中には、かばんにヘルプマークをつけている人がいます。もし、みなさんが街で「ヘルプマーク」をつけている人を見かけたら、どうぞ、見守ってあげてください。もし、困っている人がいたら、ちょっとだけ勇気を出して、「何かお手伝いしましょうか？」と声をかけてみてください。



障がいのある人と私たちが、楽しく一緒に暮らしていけるようにみんなで行動していきましょう。

## 劇についてのお問合せは 世田谷パブリックシアターへ

世田谷パブリックシアターは、1997年に開館した東京・三軒茶屋にある劇場です。劇場は、演劇やダンスをみたり、ワークショップをしたりする場所です。

ホームページ



お遊びに  
来てね♪

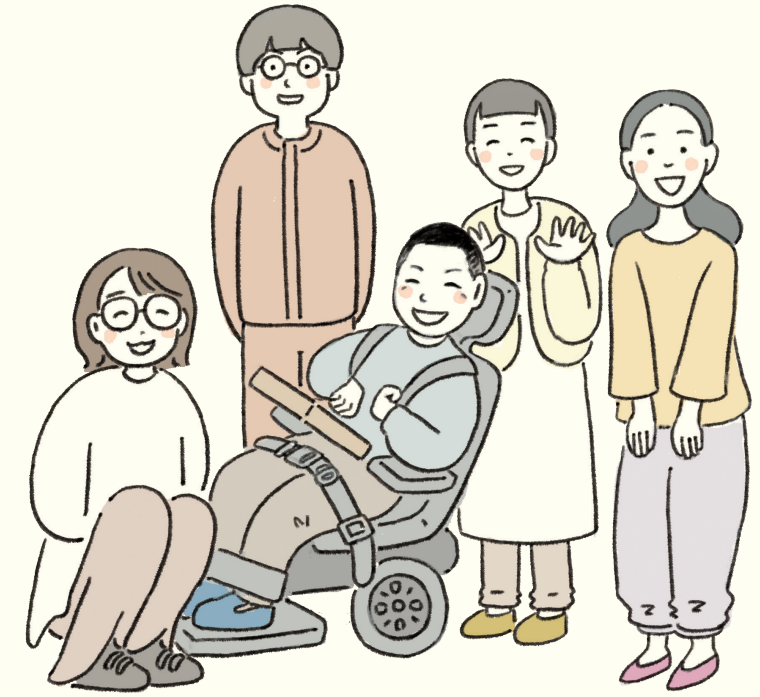
## 文化芸術による子供育成推進事業(ユニバーサル公演事業)とは

文化芸術による子供育成推進事業は、小学校・中学校等に文化芸術団体又は個人や少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する事業です。子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。

ユニバーサル公演事業を設置することで、更に多くの子供たちが文化芸術に親しみ、文化芸術を通して表現の多様性を認識し、障がいへの理解を深める鑑賞・体験機会を提供していきます。

## 世田谷パブリックシアター

# ともしやの部屋 ～黒田真史さん～ +ワークショップ



出演者 大道朋奈・有吉宣人 / 伊藤恭平・大塚由祈子・高野菜 & 黒田真史

「ともしやの部屋～黒田真史さん～」をみてくださって、ありがとうございます。

この劇が、みなさんが黒田さんのこと、障がいのある人に  
関心を持つきっかけになることを願っています。

そして、障がいのある人たちといっしょに楽しくゆかいに生きていくには、  
どうしたらいいのか、自分たちに何ができるのかを考えてほしいと思っています。

劇をみ終わったあと、みんなでたくさんお話してみてくださいね。



# 黒田さんのある1日 ~ケアセンターふらっと編~



## プロフィール

わたしの名前は 黒田真史 です。 まーくん って呼んでください。  
 性格はみんなから、 お調子者 でおちよこちよい と言われるけど、  
 自分では 明るい と思ってます。  
 2 月 3 日 生まれの 水瓶座 で、血液型は B 型です！ チャームポイントは 笑顔 です。



## わたしのおきにいり

なりたかった職業: **ダンサー**

好きな色: **ブルー**

好きな音楽: **ロック系の音楽、B'zが好き。**

おすすめ: **米倉涼子**

好きな食べ物: **ラーメン**

好きな音楽: **マイブーム**

2022 ねん 12 がつ

ラプヨーナ

告白したことがある? — **YES** ♥ NO

告白されたことがある? — **YES** ♥ NO

大失恋したことがある? — **YES** ♥ NO

人生のモテ期はもうきた? — **YES** ♥ NO

友達に言えないヒミツがある? — **YES** ♥ NO

今、好きな人はいる? — **YES** ♥ NO

みんなへメッセージ

もし、人生の途中で病気や事故で、前と同じように暮らす事ができなくなっても大丈夫！  
 国（福祉）や周りの人が助けてくれるから、僕のように楽しく生きて行けるよ！

